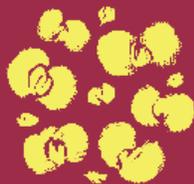


おいしい！の
笑顔をつくる

Be always for Customers!

井村屋グループ株式会社



お野菜

— 株主のみなさまへ —

第79期 中間報告書

平成27年4月1日 ▶ 平成27年9月30日

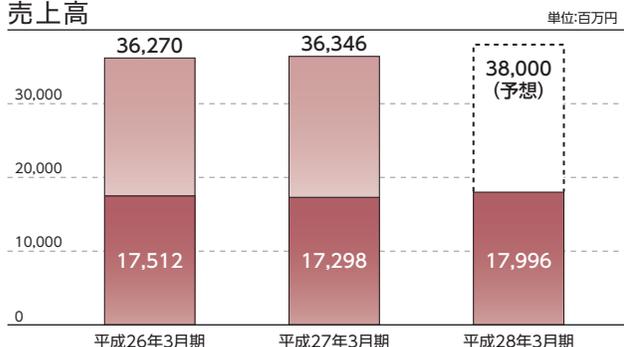


imuraya group

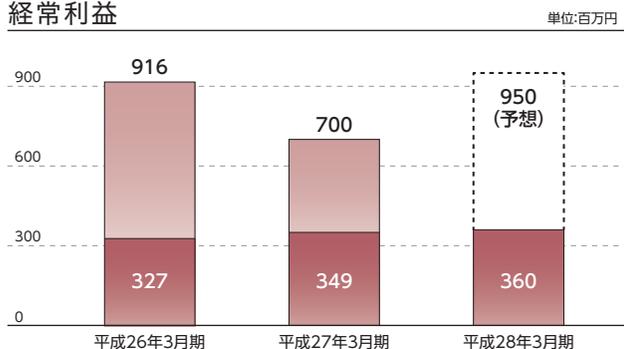
連結財務ハイライト

■ 通期実績 (4月1日～3月31日) ■ 中間実績 (4月1日～9月30日)

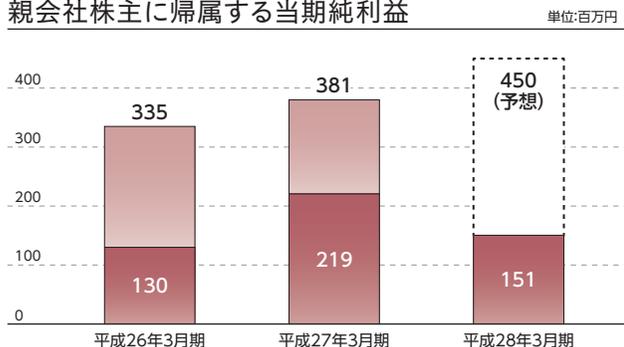
売上高



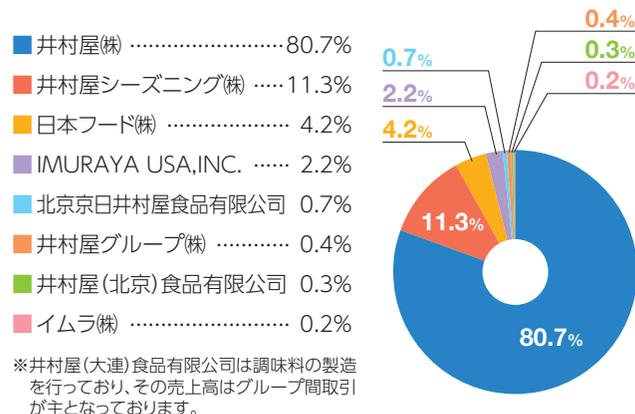
経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



持株会社及び事業会社別の売上高

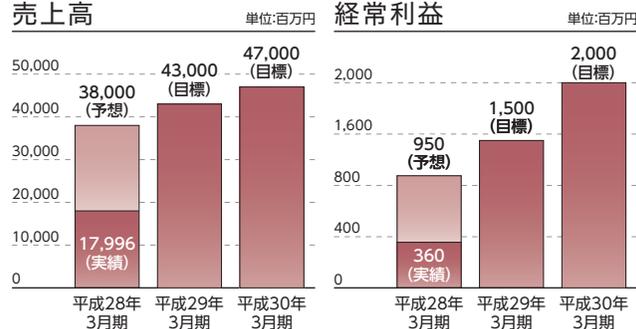


井村屋グループ中期3カ年計画

One imuraya 2017

井村屋グループは、平成27年4月から平成30年3月までの3年間の経営方針として、中期3カ年計画「One imuraya 2017」を策定しました。厳しさを増す経営環境のなか、グループ間の連携を強め、より一層のシナジー効果を発揮することでグループ企業価値をさらに高めてまいります。常にお客様の視点に立ち、継続的なイノベーション(革新)で特色経営をさらに磨き、着実な成長によって社会に貢献するグループ企業を目指します。

売上高



井村屋グループ理念

井村屋グループ各社・各部門そして私たち一人ひとりの活動の原点であり、精神的支柱となるもので、以下3つの要素からなります。

Mission ミッション(社会的使命)

「おいしい!の笑顔をつくる」

安全で安心できる楽しい商品・サービスを提供し、お客様の食生活においしい!の笑顔の輪を広げ続けることが、私たちの社会的使命です。

Vision ビジョン(ミッションを果たす道程)

Be always for Customers!

社員一人ひとりが、いつでもお客様の立場に立って、いつもお客様のことを意識し、行動しましょう。

Passion パッション(情熱、心意気、行動)

「イノベーション(革新)」

パッションの原点はイノベーション(革新)の発揮です。全体最適を考え、全員でイノベーション(革新)に向けて活動することが「特色経営」につながり、新しい付加価値になります。



井村屋グループ株式会社
代表取締役会長(CEO)

浅田剛夫



井村屋グループ株式会社
代表取締役社長(COO)

寺家正昭

株主のみなさまへ

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

第79期上半期(平成27年4月1日～平成27年9月30日まで)を終了し、中間報告書をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

わが国経済は、雇用・所得環境の改善傾向が続く中で、企業収益に改善が見られ、緩やかな回復基調となりましたが、中国の経済減速をはじめとする海外景気の下振れ懸念などにより、先行き不透明な状況が続いています。菓子・食品業界においても、企業間の競争が激化する中で、円安基調が続く為替の影響から原材料費の高止まりが続く状況であり、厳しい経営環境で推移しました。

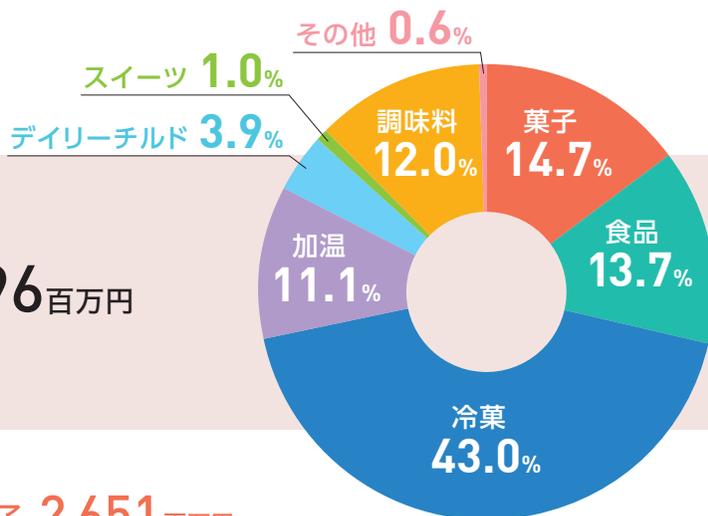
そのような経営環境下において、当社グループは新しい中期3カ年計画「One imuraya 2017」の初年度にあたり、確実な目標達成に向け、顧客へ新しい付加価値を提供し続ける「NEW」と「NEXT」の2つのNをキーワードに、特色のある商品提案と積極的

な販売促進活動を展開しました。下半期に向けては、素材・製法・配合にこだわった「ゴールドシリーズ」の拡充や、高齢社会に対応した「高カロリー豆腐」の発売など、「NEWの創造」をテーマとした取り組みも続きます。中国・米国で展開する海外事業も着実な成長が続いております。

2010年10月の持株会社制移行から、ちょうど5年が経過しました。中期3カ年計画の最終年度2017年には、創業120年、会社設立70周年を迎えます。井村屋グループは「強くて、しなやかで、魅力ある会社」を目指し、グループ一丸となって、より一層のシナジー効果を発揮し、目標達成に向けて邁進してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

合計 17,996百万円



菓子 2,651百万円

菓子については、新チャネルへの商品展開を進めている「ようかん類」で「えいようかん」や「スポーツようかんプラス」また、「招福羊羹シリーズ」が堅調に推移しました。上期では水ようかんギフトとして「ゴールド水ようかん」が好評をいただきましたが、下期には「ようかん類」においても「ゴールドようかん」を発売し、より付加価値の高い商品戦略を展開してまいります。焼き菓子では成長戦略商品に位置付けている「どら焼き」において「あんこたっぷり和菓子屋のどら焼き」シリーズが小売店で個食向け商品として好評をいただき好調に推移しました。9月からは上質感のある「あんこたっぷり和菓子屋のどら焼き」ギフトを発売し、販路拡大を進めております。

「カステラ類」は日本国内でコンビニエンスストア向けの商品が伸長し、中国の井村屋(北京)食品有限公司(IBF)から米国への輸出が増加しました。また、中国国内では新チャネルへの商品提案が進んでおり、今後の売上増加に期待がもてる状況となっております。その結果、菓子全体の売上高は、前年同期比43百万円(1.7%)増の26億51百万円となりました。



食品 2,466百万円

食品については、定番商品である「ゆであずき」や「お赤飯の素」の売上が増加するとともに、夏物商品でスパウチタイプの新商品「こだわりの氷みつ」が好評をいただき、ホットデザートではコラボ商品として発売した「まる餅付大納言小豆ぜんざい」も順調に推移しました。

冷凍食品では「ゴールドまん」シリーズに新たに「2個入りゴールド牛すきまん」を発売し、順調な立ち上がりとなりました。日本フード株式会社でのOEM受託商品の売上も増加し、食品全体の売上高は前年同期比2億9百万円(9.3%)増の24億66百万円となりました。



冷菓 7,733百万円

冷菓商品は、付加価値の高いプレミアム商品として発売した「ゴールドあずきバー」シリーズは「2015日本パッケージングコンテスト」の「包装技術賞部門 パッケージデザイン賞」を受賞し、パッケージデザインとしても高い評価をいただいております。「あずきバー」シリーズ全体では4月～9月の売上本数は1億98百万本(前年同期比1.4%増)となり、「やわもちアイス」シリーズも「やわもちアイス最中」の売上が増加し、引き続き好調に推移しました。また、フランスのクリームチーズNo.1ブランドkiri®とのコラボ商品として9月より発売した新商品「クリームチーズアイス」が井村屋の本格的なデザートアイスとして注目を集め、売上好調に推移しております。米国でアイス事業を展開しているIMURAYA USA, INC.においてもOEM受託商品に加え、井村屋ブランド商品の大手量販店への導入が順調に進み、売上の増加に貢献いたしました。その結果、冷菓商品の売上高は、前年同期比2億55百万円(3.4%)増の77億33百万円となりました。



加温 1,997百万円 (スチーマー商品)

「肉まん・あんまん」などの加温商品は、SNSを活用した販売促進やキャンペーンを計画的に実施してまいりましたが、付加価値の高い商品提案によりコンビニエンスストアへの導入アイテムが増加し、加温商品の売上高は前年同期比1億1百万円(5.3%)増の19億97百万円と順調な立ち上がりとなりました。食品カテゴリーの「冷凍まん」、デイリーチルドカテゴリーの「チルドまん」を含めた「肉まん・あんまん」類の売上高は前年同期比1億59百万円(7.0%)増の24億9百万円となり、本格的なシーズンに向け期待がもてる状況となっております。



デイリーチルド 705百万円

デイリーチルド商品では、チルドタイプの「3個入りゴールド牛すきまん」を発売し「ゴールドまん」シリーズが順調に推移しました。「豆腐類」では「美し豆腐」を中心に業務用商品やコンビニエンスストアとのコラボ商品の売上が増加しました。その結果、デイリーチルドの売上高は、前年同期比46百万円(7.0%)増の7億5百万円となりました。また、豆腐事業で新機能豆腐として「高カロリー豆腐」の商品化を進め、10月より発売を開始しました。取り組んでいるSOY(大豆)事業への変革として新たな事業展開を進めてまいります。



スイーツ 176百万円

「アンナミラーズ」「ジュヴォー」のブランドを活かした事業展開を行っているスイーツでは、アンナミラーズ高輪店が引き続き堅調に推移しました。「ジュヴォー」においてもモジェイアール名古屋タカシマヤで開催された「フランス展」に初出店し、好評をいただくなど催事販売の効果により認知度が高まり、店舗での売上が増加いたしました。また中国天津で2店舗を出店している「アンナミラーズ」もブランドの認知度が高まっており、スイーツ全体の売上高は前年同期比11百万円(6.7%)増の1億76百万円となりました。



調味料 2,156百万円

国内では井村屋シーズニング株式会社、顧客ニーズに対応した新規テーマの取り組みと新規ルート開拓を進め、自社開発商品とOEMに加えて、ODM(Original Design Manufacturing)市場での新規顧客獲得やハラール認証を活用した商品提案に取り組みました。売上は前年並みとなりましたが、差益の改善が図られるとともに、生産性向上への取り組みにより、労務費やエネルギーコストが削減され、損益面では前年同期を上回りました。

中国の調味料事業では北京での販売と大連での生産という2拠点体制で成長戦略と効率化に取り組んでおります。北京の北京京日井村屋食品有限公司(JIF)では積極的な市場開拓を押し進め中国国内の売上が増加し、大連の井村屋(大連)食品有限公司(IDF)も本格的な生産体制を整え、製造コスト低減に取り組んでおります。この結果、調味料事業の売上高は前年同期比24百万円(1.1%)増の21億56百万円となりました。



その他 107百万円

イムラ株式会社が行っているリースや保険の代理業は堅調に推移し、井村屋商品のアウトレット販売を行っております「MOTTAINAI屋」は地域住民から引き続き好評をいただきました。また、本社所在地である三重県津市の近鉄津駅構内に店出している「Imuraya Sweets Shop Irodori」では、店舗の改装を行うとともに、認知度の向上と集客数の増加に向けた企画を実施し、売上が順調に推移しております。その結果、その他の事業の売上高は1億7百万円となりました。

四半期連結貸借対照表(要約)

単位:百万円

	前連結会計年度 平成27年3月31日	当第2四半期連結会計期間 平成27年9月30日
(資産の部)		
流動資産	9,904	9,904
現金及び預金	973	800
受取手形及び売掛金	5,389	5,352
たな卸資産	2,577	2,984
その他	964	767
貸倒引当金	△1	△1
固定資産	15,037	14,793
有形固定資産	12,336	12,268
無形固定資産	138	148
投資その他の資産	2,562	2,376
繰延資産	43	33
資産合計	24,985	24,731
(負債の部)		
流動負債	11,446	11,720
固定負債	2,491	2,141
負債合計	13,937	13,861
(純資産の部)		
株主資本	8,572	8,480
その他の包括利益累計額	2,445	2,359
非支配株主持分	29	29
純資産合計	11,047	10,869
負債・純資産合計	24,985	24,731

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT 1 資産

有形固定資産の減価償却や、投資有価証券の時価評価額の減少等がありました。

POINT 2 負債

冬物商品の生産に連動した支払手形及び買掛金、未払金等は増加し、リース債務等は減少しました。

POINT 3 純資産

配当金の支払等がありました。

四半期連結損益計算書(要約)

単位:百万円

	前第2四半期連結累計期間 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで
売上高	17,298	17,996
売上原価	11,746	12,093
売上総利益	5,552	5,903
販売費及び一般管理費	5,312	5,604
営業利益	239	298
営業外収益	134	87
営業外費用	25	25
経常利益	349	360
特別利益	127	56
特別損失	31	61
税金等調整前四半期純利益	446	355
法人税等合計	227	204
四半期純利益	219	151
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	219	151

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

- POINT 1** バイオマスボイラの導入効果等により動燃費が減少し、また、保管料を中心に物流コストが減少しました。
- POINT 2** 経常利益は為替差益減少の影響がありましたが、4期連続の増益となりました。
- POINT 3** 親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期より減少しましたが、計画に沿った結果となりました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

単位:百万円

	前第2四半期連結累計期間 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	63	1,012
投資活動によるキャッシュ・フロー	△384	△529
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12	△668
現金及び現金同等物に係る換算差額	52	11
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△281	△173
現金及び現金同等物の期首残高	1,783	965
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	150	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,652	791

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

- POINT 1** (営業活動によるキャッシュ・フロー)
前年同期に比べ、棚卸資産及び売上債権が減少。
- POINT 2** (投資活動によるキャッシュ・フロー)
前年同期に比べ、有形固定資産の取得による支出が増加。
- POINT 3** (財務活動によるキャッシュ・フロー)
前年同期に比べ、短期借入金の純増減額が減少。

株式の状況

会社が発行する株式の総数	100,000,000株
発行済株式の総数	25,644,400株 (自己株式1,417,412株を含む)
株主数	4,623名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社第三銀行	1,177	4.85
株式会社百五銀行	1,157	4.77
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,118	4.61
井村屋取引先持株会	939	3.87
瀬古製粉株式会社	726	2.99
中山芳彦	698	2.88
株式会社りそな銀行	572	2.36
株式会社西村商店	478	1.97
三井住友海上火災保険株式会社	473	1.95
双日食料株式会社	465	1.92

※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主様ご優待

毎年3月31日現在及び9月30日現在の株主のみなさまに対し、ご優待品を贈呈しております。上期9月30日現在の株主様のご優待品は12月中旬頃にお送りいたします。以下は、2015年9月30日現在の株主様を対象としたご優待品でございます。

1,000株以上の株主様



井村屋商品オリジナル詰め合わせ

セレクト商品

3,000株以上の株主様

次の2種類からお一つお選びいただけます。

※①は冷凍商品のため、オリジナル詰め合わせとは別便にてお届けいたします。



①肉まん・あんまん詰め合わせ

②彩

または



※写真はイメージです。内容が一部変更する場合がありますので、ご了承ください。

株主様へのインフォメーション

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月開催
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.imuraya-group.com/ir/ad/ (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第二部 名古屋証券取引所 市場第二部

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記特別口座の口座管理人に、お問合せください。
特別口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
連絡先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
同取次窓口 三井住友信託銀行株式会社 全国各支店
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

2015 日本パッケージングコンテスト「パッケージデザイン賞」受賞

公益社団法人 日本包装技術協会が主催する「2015 日本パッケージングコンテスト」において「ゴールドあずきバー」シリーズが「包装技術部門 パッケージデザイン賞」を受賞いたしました。今回、「素材選定、形態等においてパッケージデザインが優れている」として高い評価をいただき、受賞に至りました。井村屋グループでは、今回の受賞を契機に、パッケージデザインをさらに進化させるとともに、「ゴールドあずきバー」シリーズのさらなる拡売を図っていきます。



GPマーク



「ゴールドあずきバー」シリーズ

ジュヴォー、ジェイアール名古屋タカシマヤ「フランス展」出店

9月16日～9月21日にジェイアール名古屋タカシマヤにて開催されました「フランス展2015」に初出店いたしました。フランスのおいしいグルメや雑貨を一堂に集める人気の物産展であり、今回のテーマがジュヴォー本店のあるプロヴァンス特集。フランスよりピエール・ジュヴォー氏にも連日応援いただき、看板商品の生ロカイユの実演や接客・販売を行い、たくさんのお客様に喜んでいただきました。



出店の様子

アジア各国への輸出拡大に向けて

昨年度よりASEAN地域を中心に輸出拡大に向けて海外事業戦略部を中心に活動を促進させております。現地でのマーケットリサーチ、展示会への積極的な出品、お取引様との折衝などを重ねて冷凍食品を中心に拡大を図っております。今年度も5月のタイを皮切りに台湾や香港、マレーシアなどの展示会で井村屋グループの商品をご紹介します。9月にはタイバンコクで行われました個別商談会に参画いたしました。引き続きグローバル展開への活動を進めてまいります。



香港 FOOD EXPOにて販売の様子

アスリート社員の活躍

第1回大会より弊社が協賛する「第3回伊勢志摩・里海トライアスロン大会」が7月5日に三重県志摩市で開催され、井村屋(株)関東支店の岡野社員が見事に総合優勝を果たしました。スイム1.5km、バイク40km、ラン10kmの計51.5kmを2時間13分10秒という記録で優勝しました。仕事と競技の両立を実践する社員に、これからも声援をお願いします。



岡野社員 ゴールの様子

「ゴールドまん」シリーズに 注目の新商品

昨年発売いたしました「ゴールド肉まん・ゴールドあんまん」が多くのお客様からご好評いただきました。今年はさらにゴールド商品のラインナップを拡充し「ゴールド牛すきまん」を発売しました。二段発酵製法でもっちりとした生地に国産牛100%を使用したうま味たっぷりの牛すきが具材として入っております。肉まん・あんまんと合わせてご賞味ください。



肉まん・あんまん Many Thanks キャンペーン実施

今年も肉まん・あんまんの家庭用冷凍商品・チルド商品にてパッケージについている応募シールを必要枚数集めてご応募いただくキャンペーンを実施しております。今年は「プロが選ぶ日本のホテル・旅館100選」で35年間総合1位に輝く北陸の老舗旅館「加賀屋」のペア宿泊券など北陸の逸品をテーマに合計1,110名様に賞品が当たる内容になっております。これを機会にたくさんのご応募をお待ちしております。



2015 肉まん・あんまん総選挙 「冬!! 食べたくなる中華まん」の最終結果発表!!

井村屋公式 monipla ファンページ (<https://monipla.com/imuraya/>) にて、「冬!! 食べたくなる中華まん」の総選挙を、第1弾 具材決定編、第2弾 決選投票編と二度に分けて開催いたしました。第1位となった中華まんは商品化され発売されます。具材決定編で選ばれた10品で決選投票を実施し、投票数13,164票から選ばれた栄えある第1位の中華まんは「豚旨煮まん」に決定しました。2015年12月7日に加温商品、チルド商品にて発売予定です。



「豚旨煮まん」

※写真はイメージです。

菓子



ゴールドようかん
時代の変化に合わせた贅沢なようかん

添加物や水あめを使用しないシンプルな配合で、厳選した素材をこだわりの製法で炊きあげることで、餡の風味が豊かな甘さ控えめの本格的なようかんに仕上がりました。煉・抹茶・小倉の3本セットで贅沢なお茶のひとつを提供します。



みんなで楽しめるちょっと上質な
あんこたっぷり和菓子屋のどら焼ギフト

今春発売後、ご好評いただいている「あんこたっぷり和菓子屋のどら焼シリーズ」にお手頃なギフトが登場しました。友人宅訪問時の手土産やちょっとしたお礼としてご使用いただける上質なおいしさにこだわったどら焼です。



菓匠 井村屋 和蔵

おはぎ(つぶあん) / きなこおはぎ(つぶあん) / ごまおはぎ

和菓子に強みをもつ井村屋が、小豆のおいしさを極限まで引き出した自慢のおはぎです。北海道産小豆と鮮度の良い生あんをじっくり丁寧に炊き上げ、小豆の粒感、滑らかな舌触りにこだわりました。甘さは控えめに調整して素材のおいしさを追求しました。高品質なおいしくて冷蔵保存できるおはぎを全国各地にお届けします。

食品



まる餅付大納言小豆ぜんざい
(1人前 / 2人前)

「サトウのまる餅」とのコラボが実現しました。北海道産大納言小豆を100%使用し、粒感と小豆の風味が豊かなぜんざいです。電子レンジで簡単に作ることができ、リラックスタイムにプチ贅沢なひと時をお届けします。そのまま食べられる便利なカップタイプの1人前とファミリータイプの2人前が登場しました。

デイリーチルド



高カロリー豆腐(7個入り)

「おいしく」、「少量で」、「高カロリーを摂取できる」新しい豆腐を開発

なめらかな食感の豆腐に、中鎖脂肪酸オイルを使用することで、体内に吸収されやすく、短時間でエネルギーに変わる特長を備えました。そのため、量が食べられない低栄養傾向にある高齢の方にも手軽にカロリーを補給していただけます。三重県産の大豆、にがりを使用するなど、原料にもこだわり、豆腐本来のおいしさも楽しめる商品です。

冷菓



きんつばアイス

昨秋の発売以来、ご好評いただいている「きんつばアイス」が更においしくリニューアル。キレの良い甘さで、2倍に増量した甘納豆がぎっしり入り、小豆の粒感と上質な餡を楽しんでいただける逸品です。



クリームチーズアイス 井村屋×kiri®初のコラボ!

フランス生まれのクリームチーズNo.1ブランドkiri®をたっぷり使用した本格的なデザートアイスです。濃厚でクリーミーなkiri®の味わいと、さっぱりしたアイスの絶妙なハーモニーをお届けします。



社外取締役 なくら まちこ
名倉 眞知子

- ・昭和51年3月
公認会計士登録
- ・昭和57年4月
公認会計士名倉眞知子事務所開設(現任)

本年6月の株主総会でご承認戴き、社外取締役として職務遂行させて戴いております。名倉眞知子でございます。

取締役会の機能は、取締役が行う会社業務の「決定」と「監督」ですが、その中で社外取締役の職務の中心は業務執行の「監督」にあると言われております。経営戦略・計画に対する成果を検証し経営の適否の判断を行う重要な役割であり、身の引き締まる思いで臨んでおります。

当社がCSR行動指針に則り株主様をはじめとする全ての利害関係者の利益を実現し社会的責任を果たす活動を実施する、私は、その一員として、共に長期的な企業価値の最大化を目指したいと思っております。

私は、30年余前に当社の外部監査人である五十鈴監査法人の設立に携わり、独立の立場で会計監査を実施しながら、長く会社の成長も見守ってまいりました。この経験を生かし伝統ある当社に一層貢献できるよう努力してまいりたいと思います。株主の皆様のご多大なご支援を賜りますようお願い申し上げます。



社外取締役 にし おか けい こ
西岡 慶子

- ・平成13年5月
株式会社光機械製作所 代表取締役社長就任(現任)
- ・平成23年6月
国立大学法人三重大学 経営協議会委員就任(現任)

6月19日の株主総会でご承認をいただき、社外取締役に就任いたしました。西岡慶子でございます。

現在、井村屋グループでは、2015年に始まる中期三カ年計画を展開しており、経営基盤の一層の強化に取り組んでおります。更に、その最終年度に当たる2017年には創業120年、会社設立70周年という特別な節目を迎えることとなります。そうした状況下、今回初めて社外取締役の選任が行われました。

私は、米国企業での勤務や会議・商談通訳を経て、工作機械メーカーを経営してまいりました。井村屋グループとは、業種も規模も異なりますが、これまでの経験を通じて得た国際感覚や経営に関する知見をベースに、取締役会で独立性のある意見をしっかりと述べ、社外取締役の一人として、株主価値の最大化に努めるとともに、井村屋グループの発展に微力ながら貢献できるよう、役割を果たす所存でございます。今後とも皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

持株会社 概要(平成27年9月30日現在)

井村屋グループ株式会社

本社所在地	三重県津市高茶屋七丁目1番1号
創業	明治29年(1896年)
設立	昭和22年(1947年)4月
資本金	2,253百万円
従業員数	44名 ※グループ全体では896名
事業内容	事業会社の経営管理、事業会社に対するコンサルティング、不動産の賃貸・管理
役員・執行役員	代表取締役会長(CEO) …………… 浅田 剛夫 代表取締役社長(COO) …………… 寺家 正昭 専務取締役兼上席執行役員 …………… 前山 健 専務取締役兼上席執行役員 …………… 中島 伸子 常務取締役兼上席執行役員 …………… 大西 安樹 常務取締役兼上席執行役員 …………… 菅沼 重元 取締役兼上席執行役員(CTO) …………… 伊藤 宏規 社外取締役 …………… 名倉真知子 社外取締役 …………… 西岡 慶子 上席執行役員 …………… 鼎 正教 常任・常勤監査役 …………… 村田 清 常勤監査役 …………… 脇田 元夫 社外監査役 …………… 土川 禮子 社外監査役 …………… 戸川 順治

井村屋グループ株式会社ウェブサイト

<http://www.imuraya-group.com/>

井村屋グループ株式会社のウェブサイトでは、企業情報をはじめ、CSRの取り組みや環境対策、グループ各社の商品情報など、さまざまな情報を掲載しております。

井村屋ウェブショップ

<http://www.imuraya-webshop.jp/shop/>



井村屋株式会社 公式Twitter

https://twitter.com/IMURAYA_DM



井村屋株式会社 公式Facebook

<https://www.facebook.com/azukinoimuraya>



この印刷物は、植物油
インキを使用しています。



見やすいユニバーサル
デザインフォント
を採用しています。



事業会社 概要(平成27年9月30日現在)

より詳しい内容は、各社ホームページ、井村屋グループホームページの「グループ企業紹介」(<http://www.imuraya-group.com/outline/group/>)を参照ください。

井村屋株式会社

所在地：三重県津市高茶屋七丁目1番1号
事業内容：菓子・食品・ディレクタード・加温・冷菓・スイーツの製造販売
代表者：浅田 剛夫・前山 健
<http://www.imuraya.co.jp/>

井村屋シーズニング株式会社

所在地：愛知県豊橋市西七根町字奥足田口88番地
事業内容：調味料の製造販売
代表者：菅沼 重元
<http://www.imuraya-group.com/seasoning/>

日本フード株式会社

所在地：愛知県豊橋市中原町字地歩24番地の1
事業内容：菓子・食品・冷菓の製造
代表者：森井 英行
<http://www.nipponfood.co.jp/>

イムラ株式会社

所在地：三重県津市高茶屋五丁目6番1号
事業内容：保険代理業・リース代理店業務・不動産管理業務等
代表者：中島 伸子
<http://www.imuraya-group.com/outline/group/>

北京京日井村屋食品有限公司

所在地：中国北京市豊台区花郷羊坊308号
事業内容：調味料の製造販売
代表者：前山 健・近藤 久嗣
<http://www.imuraya.cn/jif/>

井村屋(北京)食品有限公司

所在地：中国北京市豊台区花郷羊坊308号
事業内容：菓子の製造販売
代表者：前山 健・周 浩
<http://www.imuraya.cn/ibf/>

IMURAYA USA, INC.

所在地：2502 Barranca Parkway Irvine, CA 92606, USA
事業内容：冷菓の製造販売
代表者：浅田 剛夫・川田 薫
<http://imuraya-usa.com/>

井村屋(大連)食品有限公司

所在地：中国遼寧省大連市旅順口区長城街道大房身村
事業内容：調味料の製造販売
代表者：杉浦 正久
<http://www.imuraya-group.com/outline/group/>